

■ 施工手順



下地補修

1. 下地状態の確認

- ① 接着剤の下地への密着性が悪い場合、接着剤層を剥離、除去する。



パテ処理

2. パテ処理

- ① 「アースコート60」または「リフォームシール」を床糊残存面が見えなくなる様、下地全面を平滑にし、完全に硬化・乾燥させる。



張り付け

3. 床材の張り付け

- ① 床材、施工環境、使用状況などを加味して適合する接着剤を選定する。
- ② 接着剤を下地に塗布し、所定のオープンタイムをとる。
- ③ 床材を張り付け、圧着可能時間内にローラー等を掛け、床材と接着剤を十分に馴染ませる。
- ④ 床材張り付け後、24時間程度は極力人通りを避けると共に、1週間程度は直射日光や急激な空調の使用などを避け、換気をよくして養生する。

■ 使用商品 (施工㎡数)

● アースコート60



商品番号	荷姿	施工㎡数の目安
293-801	4.5kg(x4)	5㎡/4.5kg (1mm厚)

※備考

- (1) 床材及び接着剤は、極力前日までに搬入し、施工環境に慣らしておいてください。
- (2) ビニル床シートなどを施工する場合は、施工に先立ち、巻癖、伸縮を取り除くため、仮敷きを行ってください。タイル系の床材は、反りなどが生じないよう、平滑な場所で保管してください。
- (3) 冬季低温時(5℃以下)の施工は、ジェットヒーターで採暖を取るなどして施工を行ってください。
- (4) 施工後、急激な温度変化が生じると、床材が伸縮し、目透きや突き上がり、反りが発生し易いのでご注意ください。
- (5) 床材張り付け後、床材に適した継ぎ目処理などを行ってください。
- (6) 屋外や半屋外など、施工後水の影響を受ける場所では、耐水用接着剤をご使用ください。

■ 注意事項

- ① 溶剤系製品を使用する際は、火気・換気に十分注意してください。
- ② 床材の種類によっては、接着しにくいものもありますので、事前に試験施工して確認された上で本施工を行ってください。
- ③ 下地の床材に浮き、剥がれ、ひび割れがある場合、下地の強度不足、湿気の影響、下地が動いているなど、下地そのものが原因の場合もありますのでご注意ください。
- ④ 「アースコート60」、「リフォームシール」は、高い剛性を持った床用パテですが、極端に下地が動いた場合や大きな衝撃が加わった場合、パテが割れることがありますのでご注意ください。
- ⑤ 使用に際しては、各製品の使用方法、注意事項などを必ずお読みいただき、十分にご理解頂いた上でご使用ください。尚、製品の取り扱いに関する詳細が必要な場合は、安全データシート(SDS)をご参照ください。